

< N P O法人等の非農家等との連携を目標としている事例 >

## 多面的機能の持続的発揮に向けた非農家との連携

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <sup>みかさし</sup> 三笠市 タブ・コブ			
協 定 面 積 1.5 ha	田 ( 2 2 % ) 小麦・野菜・緑肥	畑 ( 7 8 % ) 馬鈴薯・南瓜	草地	採草放牧地
交 付 金 額 63万円	個人配分			47%
	共同取組活動 ( 53 % )	集落の各担当者に対する経費		12%
		農業生産活動等の体制整備に向けた活動に係る経費		24%
		農道等の維持・管理に要する経費		16%
	その他(事務費)		1%	
協 定 参 加 者	農業者 4人、農業生産法人1法人			

### 2. 取組に至る経緯

・三笠市では他集落が本制度への取組みを平成16年度から開始し、前期対策では1ヵ年と短い期間活動を行った経過がある。

タブ・コブ集落は、平成17年度から始まった今期対策では5ヵ年という期間の中で取組みができることから、新たに集落において協定を締結し、最も有効な交付金の用途について話し合いが行われた。

その結果、限られた農地の中にあって、後継者不足が今後深刻な問題となっていることから、この問題を解消するためフットパス交流ゾーンの設置等、農業に親しみを持てる魅力ある集落づくりを行い新規就農者の誘致に努めることとした。

### 3. 取組の内容

・継者不足が今後深刻となることが予想されそれを解消する活動のひとつとしてフットパス交流ゾーンの設置による魅力ある集落づくりを目指し活動を行っている。

初年度においては、フットパスマップづくりの検討、2から4年目で案内看板・ベンチ・鐘設置、散策路の整備、清掃を行い最終年度である21年度においてはフットパスを活用したイベントを考えている。

なお、地域には新規就農者が2名増え集落もより活気づいている。



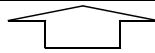
フットパス整備作業の非農家参加



農道の草刈作業

[ 集落の将来像 ]

当集落は限られた農地の中であって、後継者不足が今後深刻な問題となっている。  
この問題を解消するためフットパス交流ゾーンの設置等、農業に親しみを持てる魅力ある集落づくりを行い新規就農者の誘致に努める。



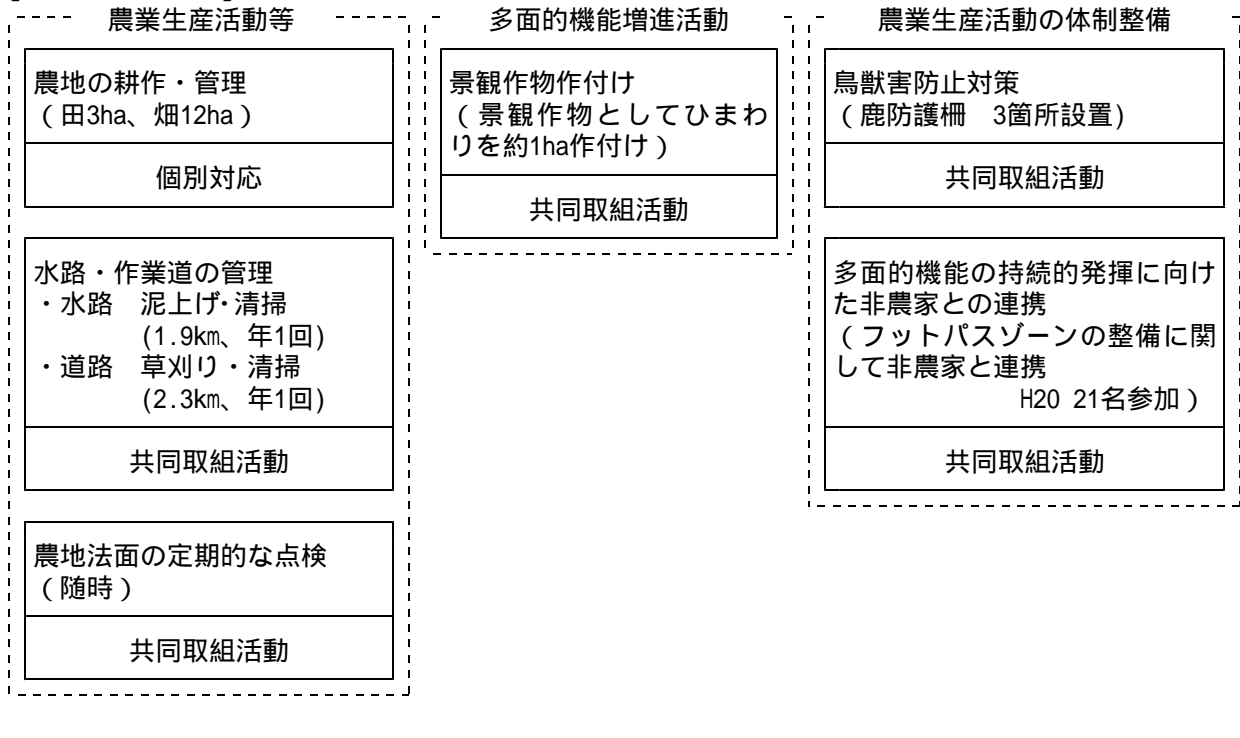
[ 将来像を実現するための活動目標 ]

新規就農者の確保できる魅力ある集落づくりのため、フットパスゾーンを非農業者とともに整備し、農業に親しみを持てる環境を醸成する。

目標 新規就農者の確保 目標1名増

フットパス交流ゾーンの設置 目標設置に当たり非農家1名以上の参加

[ 活 動 内 容 ]



#### 4 . 取組による変化と今後の課題等

- ・非農業者を含めたフットパスの整備が進んでおり、来年度にはこれを活用したイベントも計画しているところであるが、周辺の農地における農作業等に対する弊害も想定されるため、一般開放には至っていない現状にある。
- ・今後はフットパスの利用に係るルール作り等、近隣の関係者と環境整備を進めていく必要がある。

[ 平成20年度までの主な成果 ]

新規就農者の2名増加

フットパスゾーンの設置に伴い札幌国際大学学生21名による参加 ( H20 )